



ROKKO NEWS

http://www.rokkorugby.com

特定非営利活動法人
六甲クラブ

2017年シーズン開幕号

ROKKO WAY!

「ENJOY」でつかめ日本一!!

近畿リーグ快勝発進!!

5年ぶりの日本一を目指して六甲ファイティングブルが今年も近畿リーグを突っ走っている。11月5日現在、順調に4連勝、勝ち点20を積み重ねている。今季より主将の座に就いたFL中村圭佑は「僕らの力はまだまだこんなもんじゃない」と全国クラブ大会に向け更なる飛翔を誓った。

過去4年、屈きそうで届かなかった日本一。今年こそ必ずこの胸におさめるべく、六甲戦士たちは挑戦を続けている。

その先頭に立つのが、新主将のFL中村圭佑だ。攻守問わずあらゆる局面でボールに絡み、2年目ながらスキッパーに推された24歳の若武者は、「Enjoy」を今季のテーマスローガンに掲げた。

「みんな、せっかく好きで集まってプレーしているわけだから、楽しまなきゃラグビーじゃない。」

クラブという環境を楽しむ。練習や強敵との試合を楽しむ。自分を鍛えて楽しむ。

春先から取り組んできたことは、決して高度なことではなく、基本の大切さを仲間浸透させた。クラブの「宿命」でもある転動やケガなどでのメンバーの入れ替えもあったが、練習試合などで新しい力を試していた。

10月から始まった近畿リーグ。初戦の京都アパッチ戦では、11トライを奪って75-7で快勝。最高のスタートを切った。特にCTB村尾は5トライを奪う活躍を見せ、ピッチを存分に駆け巡った。2戦目の千里馬戦は降り続く雨の中、古豪の激しい接点に苦しめられる場面もあったが、43-0で完封勝利。ディフェンス面での成長を裏付けた。3戦目の芦屋戦は台風21号が接近する猛烈な風雨の中での戦い。思うような攻撃ができない中、ガマンのラグビーで28-6で勝利。この試合も相手にトライを許さなかった。



「まだまだ未熟な点は多いが、前半3試合を終えて、失点も1で、失点が少ない(3試合で13失点)ことは評価できる。いつも言っているように、相手に敬意を込めて攻守で最後まで攻め続けることが重要」と、北迫コーチも前半戦の戦いにまずは合格点を与えた。

しかし、中村主将は少しも満足していない。「みんな、こんなところで満足なんかしないで欲しい」と、ある試合後のミーティングで仲間へ訴えかけた。

「僕らの目指すところはもっともっと高いところにある。全国大会になれば(相手のレベルも高くなり)少しのミスが命取りになる場面が増えて来る。まだまだ僕らがやるべきことはたくさんある。もっとうまくなれるし、もっと強くなれる。」

試合以外では照れ屋で口下手な男の熱い言葉に、メンバーたちは少し驚いた表情だったが、「キャプテンらしくなってきた」と頼もしく感じながら気持ちを新たにしたい。

近畿リーグ①

10月1日(京都・太陽が丘)

六甲ファイティングブル 75 - 7 京都アパッチ

近畿リーグ②

10月15日(天理・親皇)

六甲ファイティングブル 43 - 0 千里馬クラブ

近畿リーグ③

10月22日(加古川・白岡山)

六甲ファイティングブル 28 - 6 芦屋クラブ

近畿リーグ④

11月5日(Jグリーン堺)

六甲ファイティングブル 101 - 14 スパース



1月から始まる全国大会に向けて、各地でクラブ勢が熱戦を展開している。関東では常勝・神奈川タマリバクラブが全国大会出場を逃した。各チームともトップリーグ引退選手や大学強豪選手を加入させチーム強化を図り、準決勝、決勝までの道のりが毎年厳しくなってきた。

「だからこそ、全国大会へ向けてのDF力の向上は必須と考えてます」と、中村主将は更なるレベルアップが必要と強調する。

春先には「ゼロから始めるわけじゃなくて、これまでの3年間、晋平さん(谷前主将)が築き上げたものの上に積み重ねていけるように」と語っていたチーム力。ここから

どれだけ伸びしろが大きくなるか。まずは11月19日に迫った近畿リーグ・文の里クラブとの全勝対決に集中する。

六甲ファイティングブル。今はただ走り抜けるのだ。



クラブ一丸で努力

中村 圭佑 主将

新キャプテンとして初めてのシーズンで不安はありますが、リーダー陣やスタッフにサポートしてもらいながら日々取り組んでいきたいと思っています。近畿リーグも4戦を終え、ケガ人も出ましたが、チームは順調にきています。シーズンも深まり、コラからタイトな試合が続きますが、日本一に向けて六甲クラブ一丸となって精一杯努力していきます。



今年こそ喜びを全員で!

三木 勇太 副将

六甲クラブに入って5年目ですが、いまだに日本一になることができていません。今年こそはクラブに関わる全員が喜べるような結果を得るために一丸となって日本一に向けて頑張っています。個人としてもチームを勝利に導くようなパフォーマンスをするべく日々から努力していきたいと思っています。応援のほどよろしくお願いたします。



攻守に精度を上げる!

安部 都兼 副将

近年、全国大会準決勝の壁を突破できずにいますが、この現状を打破するため、今シーズンはディフェンス練習はもちろんのこと、アタックにも多くの時間を割いてきました。今年こそ必ず日本一になれるよう、これからさらに制度を上げていきます。応援のほどよろしくお願いたします。



若手とベテランと新戦力の融合

転勤や就職などで毎年多くのメンバーが入れ替わるのがクラブチームの宿命。今季もケガ人を含めてレギュラークラスが離脱する中、頼もしい仲間が加わっている。

F.L.No.8の西谷将克は44歳。九州の強豪・玄海タンガロアからやってきた。地元兵庫の星陵高校出身で、大体大↓サニックス↓NZラグビー留学の経験を持ち、風貌や練習に来る

るいでたちから「渡世人ラガー」と呼ぶのがふさわしい。小さい体ながら、マリマリとした体つきと、相手に痛みを与える激しいプレーが身上。夏を過ぎたあたりから「サビ」を落として、実力を見せ始め評価が急上昇。近畿リーグ初戦では見事に先発の座を射止めた。競争が激しいF.L陣の中でいぶし銀の輝きを放つ。

HOの上田陸は常翔学園から帝京大と名門を歩んできた即戦力。スクラムでの安定はもちろん、密集から相手に絡まれても力強く前進し、前5人の要となっている。

B.Kではシーズン前に副将のWTB三木が海外勤務となる「衝撃ニュース」が走ったが、それをカバーするのがS.O安部都兼だ。今春、東京から関西に戻り、3年ぶりに六甲に戻ってきた。三木とは甲南高時代の同期でもあり、関学大時代はAチームで最後まで司令塔のポジションを争った逸材だ。優しい顔をしながら強くな仕掛けと幅広い視野を持つ男に、

六甲FB日本一までの道のり		
六甲FB	75-7	京都アパッチ (近畿リーグ①)
六甲FB	43-0	千里馬クラブ (近畿リーグ②)
六甲FB	28-6	芦屋クラブ (近畿リーグ③)
六甲FB	101-14	Sスターズ (近畿リーグ④)
近畿リーグ⑤		(11月19日・花園第3)
全国大会2回戦		(1月21日・宝ヶ池)
全国大会準決勝		(2月4日・パロマ瑞穂)
全国大会決勝		(2月18日・パロマ瑞穂)

さらにには芦屋クラブから主将の経験もあるF.Lの綿谷博薫、名古屋から関西に戻ってきた六甲FB元主将のF.L鎌田崇史らベテラン勢も戦力に加わった。彼らの経験値はチームの潤滑剤となる。若手のスピードと激しさとベテランの意地と経験。多くのものが混ざりあい、化学反応を起こして六甲ファイティングブルは強くなっていく。

三木は自分が不在の間、副将を任せたいことも異論はないだろう。コンバージョンもリーグ2戦で17本中15本成功と高い確率を誇り、チームの重要な得点源にもなっている。

さらには1年越しでチームに加入したS.O衣川太貴(明大)。「パスが放れるFW」と呼ばれ、92キロのどっしりとした体格はつかまっても倒れない。京都アパッチ戦では途中出場ながら、相手二人を吹っ飛ばすタックルもみせた。安部も「トライゲッター」の三木がいなくても、B.K全体にいい意味で危機感が出てきて、ポジション争いが熾烈になってきています」と語っている。

2017年度体制	
★2017年度六甲ファイティングブル★	
主将	中村 圭佑 (24 関学大)
副将	三木 勇太 (27 甲南大) 安部 都兼 (27 関学大)
総監督	東田 哲也 (57 同大)
G M	榎村 政身 (44 柏原高)
コーチ	北迫 孝治 (47 大東大) 由良 康美 (41 帝京大) ※選手兼任

さらには芦屋クラブから主将の経験もあるF.Lの綿谷博薫、名古屋から関西に戻ってきた六甲FB元主将のF.L鎌田崇史らベテラン勢も戦力に加わった。彼らの経験値はチームの潤滑剤となる。若手のスピードと激しさとベテランの意地と経験。多くのものが混ざりあい、化学反応を起こして六甲ファイティングブルは強くなっていく。

北海道セブンズ

7月8日、9日に「第7回北海道セブンズ」が、定山深・北海道バリアンズグラウンドで行われ、六甲クラブは今年も特別チームを編成し参加した。

早朝に関西を出発して、グラウンドに着いたのがキックオフ15分前。アップもそこそこに試合に臨んだが、なんとか予選リーグを3戦全勝で通過した。

2日目の決勝トーナメント。初日にけが人も出たことがあり、接戦を逃して悔しい結果となった。セブンズキャプテンを務めた三木は「初日3戦全勝、2日目は完敗と明暗を両方経験しました。セブンズはお祭りとはいえ、参加した各チームとも、国体に備えた選手強化や、トップ選手を入れたりして年々レベルアップしていることを痛感しました。」と述べ、同行した東田総監督も、「来季は前日入りなど時間的に余裕を持った対策を全体で考えなければ」との巻き返しを誓った。

プレーヤー・サポーターも募集しています!

個人後援会員	団体・法人会員	ユニフォームロゴ・スポンサー
年間会費 2,000円	年間会費 1口10,000円 (原則2口以上)	年間50,000円~(要相談) (原則2年契約)
予定している特典 ・会報の送付 ・試合、行事などの案内 ・ファンの集いの案内、優待など	予定している特典 ・試合、行事などの案内 ・後援企業(団体)交流会 ・企業(団体)広告の掲載 ・ファンの集いの案内、優待など	予定している特典 ・ジャージ・パンツなどにロゴ ・団体、法人会員と同等の特典 ※詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせは 特定非営利活動法人 六甲クラブ サポーター会員募集事務局 (担当:山崎秀子) お問い合わせはEメールにてお願致します。 e-mail:rokkoclub@hct.zaq.ne.jp FAX:079-243-1156

HPからお申し込みください。 <http://www.rokkorugby.com>

サポーターの年会費と特典内容

★予選リーグ

- 六甲21-10 北海道選抜
- 六甲38-21 福島県選抜
- 六甲21-10 神奈川タマリバ

★決勝トーナメント

- 六甲5-17 福井県選抜
- 六甲17-21 神奈川タマリバ
- 六甲5-33 明大